

令和4年度（2022年度）

要覧



SPEC 滋賀県総合教育センター
Shiga Prefectural Education Center



センターHP

「授人以魚 不如授人以漁」

所長 近藤 敏夫



今年も桜が満開に咲き誇り、風薫る新緑が美しく光り輝き、つつじが色鮮やかに咲き競いました。まもなく紫陽花が咲き、蝉しぐれに包まれます。総合教育センターでは、一年を通して生命の息吹を感じることが出来ます。各学校園でも同じように、子どもたちが笑顔いっぱい、生き生きと活動していることでしょう。

ただ現在も新型コロナウイルス感染症は予断を許さない状況が続いています。各学校園におかれましては、子どもたちの健康・安全に最大限配慮しながら、日常の学校生活を維持されていることと思います。当センターの研修につきましても、感染状況を注視しながら、集合型・オンデマンド型・同時双方向型のそれぞれのメリットを生かして進めているところです。

さて、2021年1月26日中央教育審議会が、答申「『令和の日本型学校教育』の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～」を取りまとめたことは御存じのことと思います。その答申では、ICTを効果的に活用し「個別最適な学び」や「協働的な学び」を一体的に充実し、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善につなげていくことが必要であるとしています。

先日、個別最適な学びについての次のような説明文に出会いました。「個別最適な学びを実現するためのポイントの一つに、子どもたちが『学び方』を獲得し、選択できるということが挙げられる。自宅から駅までの交通手段を例に考えてみる。駅が徒歩圏内にある場合、歩いても、自動車でも、自転車でも行くことができる。運動不足だから歩いて行こう。雨が降っているから自動車で行こう、気分転換に自転車で行こう、と私たちはその時の状況や気分で手段を

選択している。これらが選択できる背景には、徒歩、自動車、自転車の選択肢をすべて経験し、それぞれの技能を獲得し、場面に応じた選択をするということがある。学び方も同じである。」

「（魚を求める人には）魚を与えるのではなく、魚の釣り方を教えよ」という格言がありますが、私たち教員は、児童生徒に様々な学び方を経験させ、その技能を獲得させ、自らが選択できる場面を作ることが必要です。私たちは「年間」「単元」「一時間」等でそれぞれ目標を定めます。その目標は全ての児童生徒に共通ですが、目標を達成するための学び方は、その時の場面や得意不得意、理解度等で児童生徒が自ら選択し、自ら学習を調整していくことになります。

Society5.0時代にふさわしい学校の実現のために、学校は今、変革が求められています。今年度当センターでは、確かな学力の向上を図り「夢と生きる力」を育むための指導力の向上を目指し、研修・研究事業に取り組んでまいりますが、ICTの効果的な活用による「個別最適な学び」と「協働的な学び」の充実を常に念頭に置いて進めてまいります。また従来の研修を更に充実させるとともに、今年度から始まる小学校高学年における教科担任制に対応するための「小学校教科担任パワーアップ研修」や「県立学校1人1台端末活用推進研修」、「滋賀の環境をつくるSDGs・MLGs研修」などの研修も新たに開講します。さらに研究事業においても教育実践モデルとして普及できるよう、先進的・先導的な研究に取り組んでまいります。今年度も当センターを存分に活用してください。そして未来を担う子どもたちの健やかな成長のために、一緒に力を合わせて頑張りましょう。

歴代所長

滋賀県教育研究所

初代	西村 栄次郎	昭28. 4～
2代	溝口 成蔵	昭31. 1～
3代	大谷 勇	昭31. 4～
4代	野崎 欣一郎	昭31. 10～
5代	細谷 雄次郎	昭32. 4～
6代	梅原 與惣次	昭33. 4～
7代	仁志 出 基	昭35. 4～
8代	岩崎 武	昭39. 4～
9代	小島 市太郎	昭40. 4～
10代	中井 重雄	昭42. 4～
11代	珠久 鶴一	昭44. 4～
12代	国松 佐三郎	昭45. 4～

滋賀県総合教育センター

初代	仁志 出 基	昭46. 4～	16代	國弘 正義	平14. 4～
2代	藤村 清一	昭51. 4～	17代	橋本源之助	平15. 4～
3代	西村 忠	昭54. 4～	18代	中川 法夫	平17. 4～
4代	松山 義夫	昭55. 9～	19代	馬場 輝代	平18. 4～
5代	吉村 博雄	昭56. 4～	20代	奥村 敬一郎	平20. 4～
6代	古川 康男	昭58. 4～	21代	中野 正堂	平21. 4～
7代	三浦 昭	昭61. 4～	22代	北村 清之	平22. 4～
8代	大塚 陽一	昭63. 4～	23代	松村 良樹	平24. 4～
9代	野村 弘	平 3. 4～	24代	小林 庄司	平26. 4～
10代	北川 一幸	平 5. 4～	25代	山仲 幸	平27. 4～
11代	山本 富夫	平 7. 4～	26代	佐敷 恵 威子	平28. 4～
12代	文室 温晴	平 8. 4～	27代	小倉 啓嗣	平30. 4～
13代	岩本 光恵	平10. 4～	28代	猪田 章嗣	令 2. 4～
14代	田附 紀夫	平12. 4～	29代	近藤 敏夫	令 4. 4～
15代	三田 俊雄	平13. 4～			

滋賀県総合教育センター
イメージキャラクター



基本理念

取組の重点

子どもたちの「生きる力」を育むために、とりわけ今学校に求められていることは、子どもの学ぶ力を高め、確かな学力を身に付けるための授業づくりです。また、新学習指導要領の「主体的・対話的で深い学び」の視点を重視した授業、ICTを活用した授業等、これからの学校教育を担う教職員の資質向上を一層図ることも求められています。滋賀県総合教育センターでは、喫緊の教育課題や学校現場のニーズに応じた研修事業や学校等支援事業を展開し、教職員の実践的指導力や専門性の向上を支援します。

また、先進的・先導的な研究事業を推進し、研究成果の普及に努めます。

行動目標

- (1) 教職員のキャリアステージや現場のニーズを反映した「**研修事業**」
- (2) 子どもの学びの質を高める「**研究事業**」
- (3) 学校等のニーズに応じた質の高い「**学校等支援事業**」
- (4) 個に応じた対応と適切な支援のための「**相談事業**」



理念図

令和4年度 滋賀県総合教育センター 理念図

センター



滋賀の教育大綱 **子ども一人ひとりの個性を大切に、生きる力を育む**
確かな学力の向上を図り「夢と生きる力」を育むための指導力の向上

教科指導改善・資質向上

- ・全国学力・学習状況調査の結果を踏まえた教科指導改善
- ・新学習指導要領への対応
- ・小学校教科担任制への対応
- ・1人1台端末の利活用の促進
- ・合理的配慮や授業のユニバーサルデザイン化
- ・ファシリテーション力の向上



コロナ禍の“自律的に学び続ける教職員”を全力支援！

研修



- 教職員の指導力の向上
- コロナ禍における集合とオンラインによるハイブリッド型研修の質の向上

研究



- 確かな学力の向上
- 課題研究・派遣研究・プロジェクト研究

学校等支援



- 「子どもが学ぶ」視点の重視
- 全国学力・学習状況調査の結果を踏まえた各校に応じた教科指導改善の提案
- 県立学校1人1台端末の利活用支援

特別支援教育相談



- 子どもの自立を図るための発達段階に応じた支援
- 特別支援学級や通級による指導等に携わる教員への授業づくりや個別ケースの相談

学校支援・働き方改革

- ・学校組織マネジメントによる業務改善
- ・カリキュラム・マネジメントの推進
- ・長期休業期間における研修日設定の工夫
- ・校内研修の充実
- ・OJTによる同僚性の醸成
- ・地域学校協働活動の推進



教職員のキャリアステージにおける人材育成

【管理職】
・学校教育の原動力
・学校経営の推進力
・関係機関との連携力

【教諭】
・教科指導力／授業力
・生徒指導力／学級経営力
・組織対応力

【養護教諭】【栄養教諭】
・専門領域における指導力
・生徒指導力
・組織対応力

【事務職員】
・調整力
・企画力
・組織力
・実務能力



子ども一人ひとりの個性を大切に、生きる力を育むために、全ての教職員が、新学習指導要領で求められる授業改善に対応した教科指導力を身に付けることと、「教職員は学校で育つ」との考えのもと、自律的に学ぶ教職員を支援することに取り組みます。

主 要 事 業

研修事業

教職員のキャリアステージや現場のニーズを反映した「研修事業」

令和4年度

滋賀県総合教育センター

研修体系図

—“自律的に学び続ける教職員”を全力支援！—



滋賀県教員のキャリアステージ

第Ⅰステージ
実践力形成期

第Ⅱステージ
成熟発展期

第Ⅲステージ
深化・応用・円熟期

管理職ステージ

指定研修

希望研修

学校等支援研修



ステージ研修

●確かな学力の向上につながる教科指導力、教育的ニーズに対応できる資質・能力を身に付ける

初任者研修
新規・新任研修

若手教職員研修

教職2年次研修

教職3年次研修

若手教職員研修（小学校）における国語・算数の研修をより系統的に計画し、研修時間の割合を増やす。

教職6年次
G-OJT研修

中堅教諭等
資質向上研修

コロナ禍を想定し、ステージ研修の4～5割をオンライン研修で計画する。また、学校教育のデジタル化を見据え、集合とオンラインのハイブリッド型研修の質の向上を図る。

職務研修

●職務に応じた基本的な知識、技能等を身に付け、職務遂行能力を高める

特別支援学級新任担任研修

通級指導教室新担当研修

理科実習助手研修

主任事務主査研修

現業職員研修

教科指導力アップ研修

●授業の質・教科指導力を高める

国語科、社会科、算数科、数学科、理科、生活科、技術・家庭科、音楽科、体育科、道徳科、外国語活動・外国語科

専門研修

●専門分野の指導力を高める

特別支援教育、理科教育（現代科学入門、理科の匠）、MLGs、情報教育、読書活動、教育フシリゼーション、学校保健、校内研究

自己啓発研修

●自己の資質・能力を高める

滋賀県平和祈念館、滋賀県国際協会、滋賀県立男女共同参画センター、滋賀大学教育学部附属学校、独立行政法人教職員支援機構立命館大学センターの研修



学校サポートバック研修

●学校と継続的に連携して授業力・教科指導力等を高める

読み解く力
教科指導



市町・学校サテライト研修

●学校・市町教育委員会・教育研究所等と連携して授業力・教科指導力等を高める

1人1台端末活用
特別支援教育

教科指導
情報教育



指定研修

協議や演習を活用し、系統性のある研修を行います。

希望研修

個々のニーズに応じて、専門性を高めます。

学校等支援研修

学校や市町教育委員会等と連携して、研修を行います。

子どもの確かな学力の向上のために、自律的に学び続ける滋賀の教職員の皆さんを支援します。研修では、実践的指導力や個々のキャリアに応じた資質・能力の向上を目指します。



主 要 事 業

研究事業

子どもの学びの質を高める「研究事業」



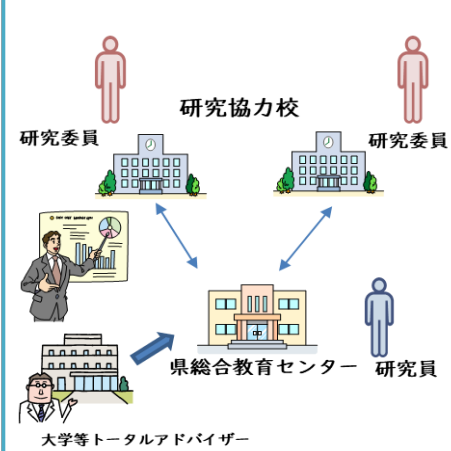
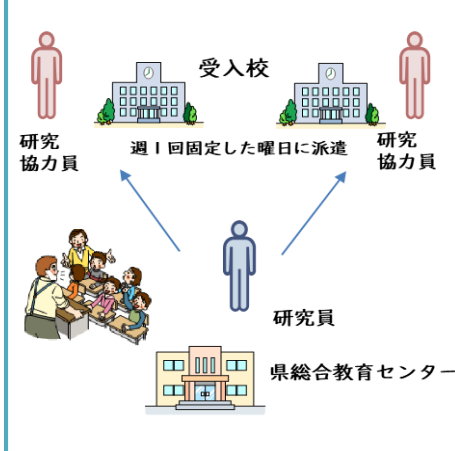
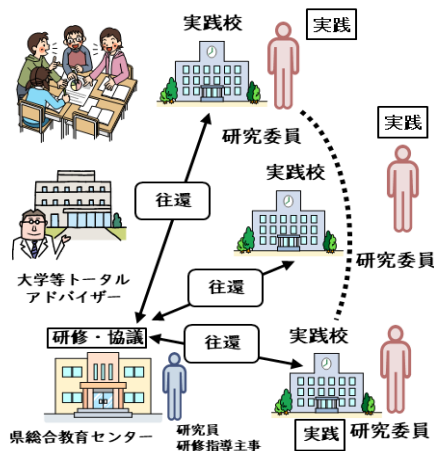
国の動向、県の課題を見据えた「研究事業」を推進することで、先進的・先導的研究を直接学校現場へ普及し、学校改善を支援します。



プロジェクト研究

学校派遣研究

課題研究



学校に寄り添う研究

実践的な指導力の向上につながる指定校研究や喫緊の教育課題に応じた研究で、学校改善を支援します。

センター研究成果情報

最新情報です！ぜひご利用ください！

研究紀要・報告書 研究成果物

プロジェクト研究

研修と実践の往還による実践力の向上を目指す指導改善研究を実施

学校派遣研究

研究員が毎週1日受入校で勤務し、学校の課題に応じた学校改善研究を実施

課題研究

喫緊の課題に対応した先進的・先導的な教科・領域研究を実施

センターHPで令和3年度までの研究成果を御覧いただけます。

プロジェクト研究

小・中学校	校内研究活性化に関する研究	小・中学校における児童生徒一人ひとりの「確かな学力」の向上につながる校内研究 －組織的・継続的な校内研究における、自校の課題解決に向けた重点的な取組を通して－
小学校	小学校国語科に関する研究	小学校国語科における「確かな学力」の向上を目指す、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実 －「主体的に学習に取り組む態度」の評価を基にした継続的な授業改善を通して－
中学校	中学校数学科に関する研究	問題発見・解決の過程を重視した「確かな学力」の向上を目指す中学校数学科の教科指導改善 －1人1台端末を効果的に活用し、生徒が「読み解く力」を、高め、発揮することを通して－

学校派遣研究

小学校	小学校算数科に関する研究	個別最適な学びの充実による「確かな学力」の育成 －小学校算数科の授業と家庭学習の往還を通して－
	小学校理科に関する研究	「確かな学力」の向上を目指す、児童が見通しをもつことに重点を置いた指導と評価の一体化 －児童の学習把握に1人1台端末を活用した小学校理科の指導改善－
中学校	中学校道徳科に関する研究	生徒自らが学びを振り返りながら学習し、成長を実感できる中学校道徳科の指導改善 －学習履歴を活用した指導と評価の組織的な取組－

課題研究

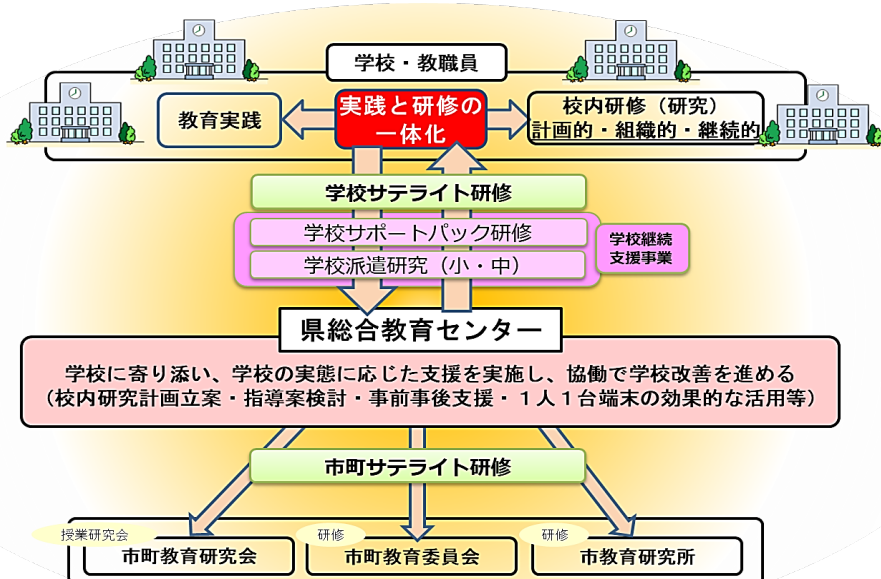
小学校	小学校外国語科に関する研究	児童が自らの学習の状況を把握し、主体的に学習を調整する小学校外国語科における言語活動の充実 －ICTの効果的な活用を踏まえた、バックワード・デザインによる授業づくり－
高等学校	高等学校理科に関する研究	思考力、判断力、表現力等を育成し、「確かな学力」の向上を目指した高等学校理科における教科指導改善 －1人1台端末を活用し、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させることを通して－
	遠隔教育に関する研究	高等学校の遠隔授業における協働的な学びの充実 －学校間を連携した遠隔授業モデルの構築を通して－

主 要 事 業

学校等支援事業

学校等のニーズに応じた質の高い「学校等支援事業」

市町教育委員会・教育研究所、学校・園が行う教職員研修や授業研究会において、県総合教育センターが連携して研修を実施し、実践と研修の一体化を図ることによって子どもの確かな学力の定着につなげます。



学校サテライト研修

学校からのニーズに応じて、センター所員が出向き、支援を行います。

市町サテライト研修

センター所員が出向き、センターで作成した研修パッケージを活用することで、センター研修と同様の研修効果が期待できます。

学校サポートバック研修

市町教育委員会が指定する学校での授業研究会等に複数回センター所員が出向き、学校を丸ごと支援します。

学校派遣研究

センター研究員が、受入校に出向き、学校の課題に応じた学校改善研究を行います。

教育学習情報の発信

当センターホームページでは、日々の教育活動に役立つさまざまな情報を発信しています。

滋賀県総合教育センター

検索

<おすすめ情報> ●研究論文・研究成果物 ●しが「読み解く力」研修動画
●学びの基礎チャレンジ ●ガッテン!!プリント ●子どもの「学びの場」



相談事業

個に応じた対応と適切な支援のための「相談事業」

特別支援教育相談



学習面や生活面で困難な状況がある幼児・児童・生徒の特別支援教育に関する相談に、専門の相談員が具体的支援内容等を一緒に考えます。また、特別支援学級の担任や通級による指導の担当者等の授業づくりや個別ケースの指導・支援に関する相談に応じます。

・連絡先……TEL 077-588-2505 (教育相談専用)
・対象……本人(幼児・児童・生徒)・保護者・教職員 等
・方法……来所による相談、電話による相談
・相談日……月～金曜日(祝日、年末年始 等を除く)
・相談時間……9:00～12:30、13:30～16:30

検査器具等の貸出しも行っています。

・WISC-IV知能検査
・WAIS成人知能検査
・KABC-II
・新版K式発達検査2001
・WPPSI知能診断検査
・DN-CAS認知評価システム
・WAVES(ビジョンアセスメント)
・多層指導モデルMIM「読みのアセスメント・指導」パッケージ
・マルチメディアデジタイズ図書
など

昭和

- 28. 3 滋賀県教育研究所設置規定制定
- 28. 4 滋賀県教育研究所設置(大津市東浦 県庁南別館滋賀県教委事務局内)
- 31. 4 近畿地区教育研究所連盟に加入
- 32. 4 滋賀県学校以外の教育機関の設置に関する条例制定
- 32. 4 全国教育研究所連盟に加入
- 33. 9 滋賀県教育研究所基本規則制定
- 36. 11 都道府県五大市教育研究所長協議会結成加入
滋賀会館に移転
- 38. 3 県庁南別館に移転
- 39. 6 大津県事務局内に移転
- 39. 3 滋賀県教育研究所の設置に関する条例制定
- 40. 4 滋賀県教育研究所基本規則改正
- 41. 1 県庁新別館に移転
- 41. 4 教育特別研修生制度制定、研究員として滋賀大(教)専攻科に1年間派遣
- 42. 3 滋賀県教育研究所基本規則改正(次長制、研究調査、教科研究係設置)
- 45. 10 第1期工事(情報処理棟)着工(野洲町大字北桜)
- 46. 3 滋賀県教育研究所廃止
滋賀県総合教育センター設置および管理に関する条例制定
滋賀県総合教育センターの管理運営に関する規則制定
第1期工事竣工(情報処理棟)
- 46. 4 滋賀県総合教育センター設置
- 46. 7 第2期工事(本館研修棟)着工
- 46. 10 中型電子計算機システム、数値制御工作機械および関連機器設置
- 47. 3 第2期工事(本館研修棟)竣工 教育工学機器設置
- 47. 5 滋賀県総合教育センター竣工開所式
- 48. 2 フーコー振り子設置
- 48. 7 プラネタリウム設置
- 49. 3 天体望遠鏡設置
- 50. 10 第54回全国理科教育センター研究協議会並びに研究発表会(化学部会)開催
- 51. 3 昭和50年度全国産業教育センター所長協議会情報処理教育部会開催
- 54. 9 第83回全国理科教育センター研究協議会並びに研究発表会(初等理科部会)開催
- 54. 12 教育工学機器更新
- 55. 1 中型電子計算機システム更新(FACOM M-160S)
- 56. 1 総合気象観測装置等の設置、理科関係備品充実
- 56. 6 全国教育研究所連盟学校経営協議会開催
- 57. 10 自動製図機設置
- 58. 5 中型電子計算機システム更新(FACOM M-160F)

- 58. 10 昭和58年度都道府県指定都市教育研究所長協議会総会並びに研究発表大会開催
- 58. 10 第117回全国理科教育センター研究協議会総会
- 61. 6 全国産業教育センター所長協議会開催
- 61. 10 全国理科教育センター研究協議会並びに研究発表会(生物部会)開催
- 63. 6 全国教育研究所連盟事務能率化研究協議会開催
- 63. 7 新館建築工事および本館改修工事着工

平成

- 元. 5 新館および本館竣工式
- 2. 10 全国理科教育センター研究協議会・研究発表会開催
- 3. 3 創立20周年記念誌発行
- 7. 7 全国情報処理教育センター指導者協議会第29回滋賀大会開催
- 8. 3 教育用ソフトウェアライブラリーセンター設置
- 8. 6 全国教育研究所連盟総会・研究発表大会開催
- 9. 12 自動気象観測装置、静止衛星「ひまわり」画像受信装置、走査型電子顕微鏡設置
- 10. 10 平成10年度全国教育研究所連盟「学校不適応・教育相談、環境教育、情報教育」等研究協議会開催
- 11. 3 教育情報衛星通信ネットワーク(エル・ネット)の設置
- 12. 4 創立30周年記念所報発行
- 13. 11 全国理科教育センター研究協議会並びに研究発表大会(物理部会)開催
- 15. 7 都道府県指定都市教育センター所長協議会総会・研究協議会開催
- 16. 8 出前研究発表会(安曇川・長浜)実施
- 17. 5 カリキュラムサポート開始
- 18. 5 総合教育センター運営協議会設置
- 21. 10 都道府県指定都市教育センター所長協議会初等理科部会開催
- 22. 6 創立40周年記念所報発行
- 23. 11 第35回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会(滋賀大会)開催
- 25. 4 学校支援事業として学力向上支援派遣開始
- 27. 4 学校支援事業として学力向上支援派遣開始
小学校派遣研究開始
- 28. 4 プロジェクト研究開始
- 29. 10 都道府県指定都市教育センター所長協議会物理部会開催
- 29. 11 近畿地区教育研究(修)所連盟発表会開催
- 30. 4 サテライト研修開始
- 31. 4 サポートバック研修開始

令和

- 2. 11 全国教育研究所連盟研究協議会(滋賀大会)
滋賀県総合教育センター創立50周年記念開催
- 3. 2 創立50周年記念所報発行
- 3. 4 全館のトイレを洋式化改修
- 3. 11 創立50周年記念誌発行

案内図

Access Map



〒520-2321 滋賀県野洲市北桜
 TEL 077-588-2311(代表)
 077-588-2312(資質向上係)
 077-588-2313(学ぶ力向上係)
 077-588-2511(科学教育係)
 077-588-2512(特別支援教育係)
 077-588-2513(情報教育係)
 FAX 077-586-0011
 URL <https://www.shiga-ec.ed.jp/>
 E-mail ma30@pref.shiga.lg.jp
 ◇JR「野洲駅」から5.4km
 タクシー JR「野洲駅」から10分
 バス JR「野洲駅」から15分
 近江鉄道バス
 「花緑公園行き」
 ・総合教育センター前下車 南へ200m